

地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議事録

開催月日	書面開催 第31回（令和3年度 第1回）		
開催場所			
委員長	中村 保博 先生	事務局	総合支援センター：上山
要旨	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため書面開催と致します。		
議題	<p>1. 当病院の地域医療連携の現況報告</p> <ol style="list-style-type: none">1) 一日平均患者数の推移2) 紹介患者数・紹介率の推移3) 逆紹介患者数・逆紹介率の推移4) 診療科・月別手術件数比較5) 診療科・月別内視鏡件数比較6) 分娩件数比較7) 共同利用（施設・設備・病床） <p>2. その他</p> <ol style="list-style-type: none">1) 地域医療支援病院連絡会議開催の報告について（11月12日） 当番病院である当院古家院長の開会挨拶後、札幌市におけるインフルエンザ流行期の中での新型コロナウイルス感染症の発熱外来および入院体制について札幌市保健所保健福祉局医務官と医療政策担当部長から講演をいただき、各病院の現状と課題について意見交換を行った。受け入れ病院が限定され、受入医療機関拡大が必須であり、入院療養とホテル療養の区分けなど行政と情報共有の場となった。2) 行事・実習受け入れについて 新型コロナウイルス感染のリスク回避のため、適宜、集合開催を検討しているが、市中感染の状況から、少人数開催やオンライン開催へ変更している。今年度は、老健夏祭りや健康フェアの開催はしない。 実習受け入れ機関の在り方として、内容によっては実習期間の延期、またはワクチン接種状況や健康調査・観察の継続、患者との接触を避け指導者が行っていることを近くで見ながら実習する方法など、考慮しながら実習受け入れを判断して行っている。3) 地域講演会について コロナ禍での集合開催を避けながらも、地域の方々が健康維持に必要な情報を取得できるように、病院公式 You Tube「JCHO北海道病院 健康ラ		

「イフちゃんねる」を開設し、職員による講話の動画配信を開始した。健康維持に必要な身近なテーマを15分程度の講話にし、病院ホームページに掲載耳鼻咽喉科医師による耳の聞こえや認知症認定看護師による聞こえと認知症の講話のほか、今後は腎臓病や減塩方法などを予定している。ゆくゆくは、院内に動画のQRコードを掲示して外来の待ち時間の有効利用に役立てたいと考えている。

4) 各診療科開催の懇話会や講演会の開催方法や予定について
市中感染状況から、集合を避け、オンライン開催へ変更している。
オンライン開催したセミナーについて

- ① 2月15日 Nexium Web Seminar in Toyohira
新型コロナウイルス感染症時代の上部消化管内視鏡治療
座長：消化器内科 定岡Dr
- ② 2月19日 Sapporo Heart Conference
合併症を見据えた心不全・糖尿病治療
演者：循環器内科 高橋Dr
- ③ 3月19日 地域で診る高血圧連携セミナー
高血圧診療で気をつけていること
演者：循環器内科 高橋Dr

オンライン開催予定の講演会について

- ① 5月18日 OTSUKA WEB Meeting
サルコペニア・フレイルを考える
演者：消化器内科 馬場Dr
- ② 7月2日 地域で診る高血圧連携セミナー
原発性アルドステロン症に伴う高血圧治療の取り組み
座長：循環器内科 高橋Dr
演者：糖尿病・内分泌内科 國崎Dr

5) 患者満足度調査の結果について

患者サービス委員会より、患者満足度調査の結果報告あり。
病院では入院と外来患者へ調査、老健は通所と入所利用者へ調査を行い、下がった項目については次年度へ向けて改善する。コロナ禍での入院加療につき、面会制限や電話での病状説明など、視覚情報量が少なくなってしまう状況下での情報共有の在り方を検討していく。

6) 次回開催について

新型コロナウイルスの市中感染状況により、今年度は対面を避けて書類決議を検討する。